

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 3 月 27 日作成)

小委員会名	集落居住小委員会	主 査 名：山崎義人 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：岡田知子
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマである「むらを住み継ぐカタチ」を引き続き検討していく。 ・全国のさまざまな試みについて、公開研究会や大会研究懇談会などを実施。 ・「むらを住み継ぐカタチ」の企画・編集を行い刊行することを目標とする。 初年度：大会研究協議会を開催し、これまでの成果を振り返りつつ議論を展開する。 2 年度・3 年度：公開研究会を開催予定。 4 年度：研究成果を取りまとめて編集し、公刊する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：山崎義人(兵庫県立大学) 幹事：佐久間康富(大阪市立大学) 委員：岡田知子(西日本工業大学)、嵩和雄(ふるさと回帰センター) 平田隆行(和歌山大学)、柴田祐(熊本県立大学)、大沼正寛(東北工業大学) 八木健太郎(西日本工業大学)、姫野由香(大分大学)、内平隆之(兵庫県立大学) 田口太郎(徳島大学)、遊佐敏彦(奈良県立医科大学)、藤原ひとみ(奈良女子大学) 野村理恵(北海道大学)、清野隆(江戸川大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	115,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. 研究会「ムラを住み継ぐカタチ#03：大分県国東市」 参加者数 14 名
大会研究集会	1. 研究協議会：住み継がれるカタチーフロンティアとしての農山漁村 『農村計画部門研究協議会資料：同上』 参加者数 110 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会研究集会を開催し、議論を展開することが本年度の主な目標であった。会場に立ち見ができるほどの満員となるなど、会員の本テーマに関する意識の高さが伺えた。また、公開研究会も開催するなど、当初の目標は十二分に達成したものと言える。
委員会活動の問題点 ・課題	全国各地の事例を調査するためには、各地へ出向く必要があるが、そのための予算的措置がなされておらず、学会活動を展開しづらい状況であるといえる。